

テーマ「次世代マネジメント・コントロールのためのメゾスコピック・モデルに関するアクション研究」

I 研究目的

実務に適用可能でとくに日本企業の発展に帰するマネジメント・コントロールのメゾスコピック・モデル（mesoscopic model, 中間モデル）を構築する。

II 研究内容

マネジメント・コントロールに関する各種理論、フレームワーク、手法を整理し、現在企業サイドでニーズのあるプレコンペティティブな階層でのメゾスコピック・モデル（中間モデル）を構築、大学と企業との共同研究によってメゾスコピック・モデルを実装したソリューションとして展開できるように試行導入のアクション研究も行う。

具体的には、次の2つのモデルを取り上げ、これらのメゾスコピック・モデルが今後、学会、実務界からの批判、評価を受けつつも進化できるベースとなりうるものを狙う。

① フィードフォワード・コントロールに適合するグラウンド・コストモデル

工場において事前にどのような改善がどのコストダウンに効いて、財務的な効果はどの程度見込めるのか、多品種の工程別の連続生産品に対して伝統的な原価計算方法を適用しつつ財務効果を予測する、また、時間軸を入れたマテリアルフローコストを予測する等、複数の視点からフィードフォワードコントロールを可能にする中間モデルを構築する（プラットフォーム候補：Space☆Finder（株）レクサー・リサーチが開発）

② ED-BPM（イベントドリブン・ビジネス・プロセス・マネジメント）モデル

とくに間接業務について、プロセスがどのように流れるか、事前に仮想データを用いて検討したり、実際の業務を実行した結果について可視化し分析することができる、フィードフォワードコントロールおよびフィードバックコントロールが実現できる中間モデルを開発し、実装する。（プラットフォーム候補：“SCRUM”（株）956が開発）

III 共同研究者

大学所属メンバー

長坂 悦敬（甲南大学） 李 健泳（新潟大学） 今井 範行（名城大学）
徳崎 進（関西学院大学） 篠田 朝也（北海道大学） 丸田 起大（九州大学）
柊 紫乃（山形大学）

企業所属メンバー（協力者）

（株）レクサー・リサーチ 社長 中村昌弘 （株）956 社長 松本 浩之
ノースリバーポイント（株） 社長 北川 満 税理士法人清水会計事務所 税理士 河本 潤